

JA 道東あさひ 草地植生改善フェスティバル 2011

2011年10月26日(水)、別海町コミュニティーセンターおよび別海育成センターの圃場において、「草地植生改善フェスティバル2011」を開催しました。以下に、その概要をご紹介します。

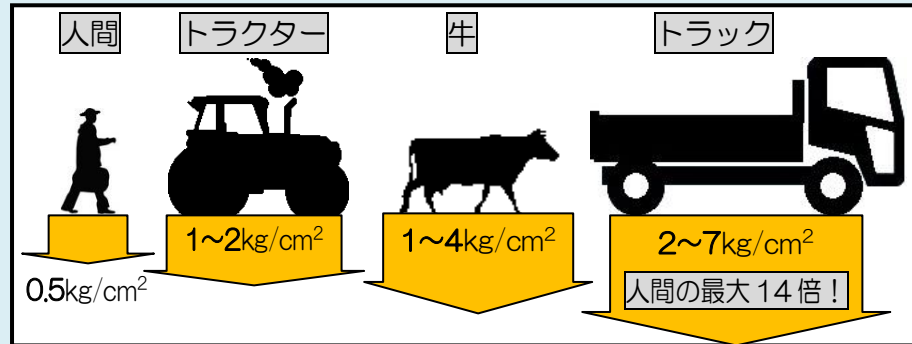
【話題提供】

① 「根釧地域における草地の現状と植生悪化要因について」 講師：酒井 治 氏 根釧農業試験場 飼料環境グループ 主査
イネ科雑草割合…除草剤の適期使用や排水性が良いと少なく、窒素やカリの養分施用量が過剰だと多い傾向がある

土壤踏圧…圃場内の作業（特に、接地圧の大きい大型機械）によって土壤が踏み固められ、土壤内部の隙間がつぶれること
→排水性悪化→滞水・冠水しやすくなる→作物の生育阻害

対策
① 有機物の十分な施用
② 踏圧を減らす
③ 物理性改善機械による対応

《接地圧(重さ/面積)の例》



《冠水による枯死株率(%)》

冠水期間	チモシー	グラス	オーチャードグラス	リードカナリーグラス	アルファルファ
6日間	10	10	0	25	
9日間	0	35	0	60	
12日間	70	100	5	100	
15日間	100	100	5	100	

↑排水性が悪いと雑草がはびこりやすい！

② 「表層攪拌更新成功のポイント」

講師：高山 光男 氏 雪印種苗(株) 北海道研究農場長

表層攪拌の利点…肥沃な表層を利用できることにより、アルファルファの定着が改善される

～成功のポイント～

- 施肥播種後の雑草対策を考えた場合、播種時期は8月が望ましい（※掃除刈りを行う際は、「牧草が隠れるギリギリまで待ってから刈取る」「アルファルファ混播草地は高刈にする」など注意が必要）
- 耕起前にグリホサート系除草剤で雑草を退治する
- 攪拌前に十分な土壤改良資材と堆肥を施用する
- 雑草が繁茂している草地では、「播種同日処理」を行う

播き直しの時期を逃した時は…

～フロストシーディング～

11月中旬以降(平均気温 5℃以下) くらいに播種し、種子のまま越冬させる技術。越冬した種子は雑草よりも早く発芽する為、雑草が少なく良好な草地を作ることができる。

③ 「植生調査の考え方、草種・品種の組み合わせ、更新方法と植生改善効果」

講師：岩淵 慶 氏 ホクレン 本所自給飼料課 調査役

イネ科とマメ科の組み合わせ…早生と早生、晩生と晩生を組み合わせると効果的

※アルファルファは中生・晩生イネ科牧草との組み合わせは× ※イネ科牧草の競合力…オーチャードグラス>チモシー(早生)

完全更新と簡易更新の比較…コストや改善効果を考慮し、草地に合った更新方法を選択することが重要

○対象圃場…更新後8年経過

○前植生

チモシー40%、シロクローバ5%、ガレガ3%
シバムギ50%、リードカナリーグラス2%

○播種牧草

オーチャードグラス「パイカル」2kg/10a
アカクローバ「ハヤキタ」0.4kg/10a
シロクローバ「マキバシロ」0.2kg/10a

除草剤	更新方法	枯草処理	シバムギの再生
散布区	完全更新区 (プラウ+ロータリー)	なし	ほとんどない
	バスチャードリル区	あり	ほとんどないが畦間が広い
	ロータリー区	あり	ほとんどない
無除草区	ロータリー区		多く認められる
	バスチャードリル区		追播牧草が抑圧されるほど旺盛

【パネルディスカッション】

コーディネーター：小島 友喜 JA道東あさひ営農センター長 ・パネリスト 山下 太郎 氏 酪農総合研究所 研究グループ 顧問 / 民部 清 氏 根室農業改良普及センター 調整係長

「失敗しない草地更新のポイント」をテーマに、草地の維持管理や施工時期について様々な意見が交わされました。

《除草時の注意点—全植生枯殺処理の徹底》

福本氏：牧草が30~40cmになってから除草剤を散布し、散布後2週間はそっとしておく。

井出氏：根の先端まで薬剤を行き渡らせるため、根が茶褐色になるまで待つ。

山下氏：除草剤を使うのが難しいときに雑草を抑える方法として、初期生育の良いライグラス類を入れることで、雑草が抑えられる可能性がある。

《更新後の維持管理について》

民部氏：土壤が酸化すると雑草が繁茂するため、土壤分析を行い、カルシウム資材を投入して適切なpHを保つ必要がある。

福本氏：人任せにせず、自分で草地を見て回ることが大切。

井出氏：炭カルと苦土重焼燐を3年間使用。資材コストを惜しまず、「土に貯金する」という意識を持っている。

【展示コーナー】



① JA 保有作業機の紹介

- ・アッパーローター(表層攪拌機)
- ・エアベーター(穿孔更新・追播・エアレーション)
- ・カルチプラウ(心土破碎機)
- ・シードマスター(播種機)



② 除草剤についての情報提供

除草剤の安全性と目的に合った選択の仕方(場所や時期など)について詳しく説明しました。



③ 地下茎イネ科雑草を下から見よう！

リードカナリーグラスやシバムギの根の太さや密集度合いを、実際に見て、触って体感してもらいました。



④ カルシウム資材の利用のススメ

草地の土壤pHが年々低下していることから、維持草地におけるカルシウム資材の散布量や種類について説明しました。



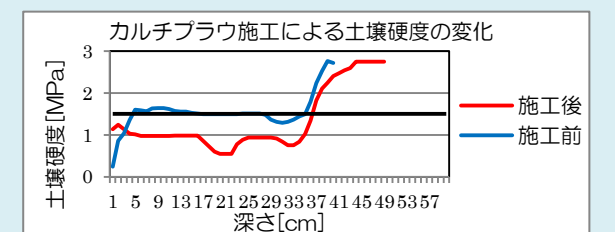
⑤ 展示・体験コーナー

雑草と基幹草種の見分け方コーナーでは、実際に草を見て確認してもらいながら、各草種の形態的特徴について解説しました。

成功・失敗クイズでは、過去の事例を基に植生改善で注意してほしい点を紹介しました。その他、植生改善用語やサイレーンサンプルなどを紹介しました。

【実演会】

別海育成センターの圃場にて3種の物理性改善機械(①カルチプラウ ②サブソイラー ③エアベーター)による実演を行い、各機械の特徴や作業上の注意等を説明しました。また、併せて土壤硬度計の測定体験も行い、施工前後の硬度をグラフを用いて比較し、機械の改善効果を確認しました。最後に、スキャンジャーによるライムケーキの公開散布を行いました。



※通常、硬度1.5MPaを超えると根の生育が阻害されるといわれる

多くの皆様のご参加・ご協力ありがとうございました